

月末から毛髪検査

水俣、葦北の漁師部落

熊本県衛生部では水俣病患者が発生した水俣市、葦北郡の漁師部落を中心に二月末から漁民と魚屋などの毛髪検査をする。

これは熊本医学部の喜田村教授が毛髪の水銀含有量を計ることによって、水俣病を予知する手がかりをつかんだためで、県では厚生省が原因究明の調査委託費として県に流した三十四年度の予備費百二十万円の一部をこの検査にあてる。

検査は熊大の医学、薬学両部と県

衛生研究所が担当するが、検査の結果しだいでは不知火海全域に調査を拡大する計画である。

なお検査には一人五本の毛髪がとられる。